

横浜サポーターズ寄付金

横浜サポーターズ寄付金は、いわゆる「ふるさと納税」です。以前にもお知らせした通り、篠原小学校に横浜サポーターズ寄付金が10万円分寄せられました。



昨年度末に、この10万円を活用し、児童図書の購入をいたしました。

児童図書は、毎年購入していただきますが、学習を進めるうえで必要な図書を購入するのを優先しています。そのため、なかなか児童文学の古典などを購入することができていませんでした。今回、寄付いただいたことで、今まで手薄だった児童文学の定番ともいえる図書を購入することができました。

物語が好きな子どもたちは、さっそく順番に読み始めています。

今回のご寄付に感謝いたします。

ありがとうございました。

空調設備

昨年の夏の暑さは記憶に新しいところです。教室の空調設備も、あまり効かないという状況が続きました。また、特別教室の室温も上がり、窓を開けただけでは過ごすのが難しい状況でした。

教室の空調施設に関しては、昨年の夏が終わってからですが、すべての教室の空調設備のメンテナンスを行いました。また、特別教室（図書室、音楽室、図工室、家庭科室、理科室）については、昨年度末に設置工事が終わり、今年の夏から稼働させることができるようになりました。残された視聴覚室についても、夏までに設置工事を行い、空調設備を設置していきます。

子どもたちが、どの教室でも、学習をスムーズに進めることができるように、環境整備を今後とも行ってまいります。

留守番電話

学校の電話は、8:00～17:30まではつながりますが、平日の17:30～翌日8:00までと休日、祝祭日は、留守番電話での対応になります。

ネットでの調査にご協力ください。

1. 眼科問診票

眼科検診の前に、事前に眼科問診票をお願いいたします。お子様1人につき1回の回答が必要です。（3人のおおさんが在籍している場合には、3回アクセスしてください。）

5月12日（日）までにご回答ください。お願いいたします。

眼科問診票

QRコードを読み取ってください。全児童提出になりますので、ご協力ください



2. 子どもの写真・作品等の使用について

右のQRコードを利用して、ご回答ください。

子どもの写真や作品を学校だより等のお便り類、また、ホームページで使用するについての許諾になります。

締め切りは5月17日（金）とします。

※基本的に、はっきりと顔がわかるような写真の掲載がないように気を付けています。

※スマートフォンでの回答がうまくいかない場合は、連絡帳で担任までご連絡ください。アンケート用紙をお配りいたします。



セクシャルハラスメント相談窓口

校内窓口

児童支援専任 浅野 真弘

養護教諭 金子こずえ

教育総合相談センターの一般教育相談

教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

電話番号：671-3726

月～金 9:00～17:00

（年末年始を除く平日）



篠原小学校 学校だより

平成31年4月26日

No. 2

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538
横浜市立篠原小学校 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinohara/>

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|---------------------------------|-------------------------------------|---|--|--------------------------------|------------|
| | | | 1 即位の日 | 2 国民の休日 | 3 憲法記念日 | 4 みどりの日 |
| 5 こどもの日 | 6 振替休日 | 7 集団登校日 朝会 個人面談 視力検査 6年 | 8 視力検査 5年 PTA実行委員会 | 9 歯科検診 1年2年6年個別 個人面談 図書ボランティア 全体会 | 10 個人面談 | 11 |
| 12 | 13 視力検査 4年 運動会係活動 | 14 体育朝会 視力検査 3年 引き取り訓練 | 15 視力検査 2年 | 16 耳鼻科検診 1年4年個別 委員会活動 | 17 1年個別授業参観 | 18 |
| 19 | 20 視力検査 1年 カウンセラー来校 午前 | 21 体育朝会 視力検査 個別 | 22 色覚検査 4年 22日～24日 歴史博物館見学 6年 | 23 眼科検診 全校 消防署見学 4年 | 24 学校説明会 PTA前期総会 | 25 |
| 26 | 27 日光修学旅行保護 者説明会 6年 | 28 開港記念講話 応援練習赤組 | 29 応援練習白組 | 30 内科検診 全校 代表委員会 委員会活動 尿検査セット配布 | 31 運動会係活動 尿検査回収 (全学年) | 6/1 |

6月の予定

- 2日（日） 開港記念日
- 7日（金） 運動会前日準備
- 8日（土） 運動会
- 10日（月） 代休
- 13日（木） 小中一貫授業研
- 19日（水） 焼却工場見学 4年
- 21日（金） 合同校外学習 個別
- 26日（水） 学校保健委員会
- 27日（木） はまっ子交通安全教室

水筒について

暑さ対策の一環として、昨年度は、必要に応じて水筒を持たせていただいていたいました。今年度も、5月より、必要に応じて、水筒を持たせていただければと思います。暑さ対策ですので、体への吸収が良いものなどをご検討いただき持たせていただければと思います。

4月の活動から

入学式 1年生

1年生101名が入学しました。入学式では、全員がしっかりと席に座り、お話を聞いていました。

1年生の子どもたちにとって、学校は、期待にあふれる場所だと思います。そして、不安いっばいな場所でもあるでしょう。学校では、その不安を少しずつ取り、期待をより膨らませることができるよう考えています。

給食の時間には、多くの保護者の方々にお手伝いをいただきました。また、下校についても、校外委員の方に子どもたちの下校のお手伝いをいただきました。保護者の皆様のご協力もあり、順調に1か月を過ごすことができました。

23日には、1年生を迎える会がありました。全校で1年生を仲間として迎えました。2年生から6年生までの子どもたちも、1年生を迎え、とても嬉しそうでした。

学校にもあるんだ、消防施設 4年生

4年生になると、様々な公共施設について学習を進めていくこととなります。その第1弾が消防についてです。身近な学校にある消防施設の学習から始まり、実際にどのように防災のための活動が行われているかを学習していきます。実際に消防署にも見学に行く予定です。

4年生の社会科では、消防だけでなく、ごみ処理の問題、水道水がどのように作られ、私たちのところに届けられているのか、警察の仕事など、様々な社会で行われている活動を学習していきます。



さっそく学年集会 3年生

3年生は、く学年集会を開きました。3年生は、これまで4クラスで2年間過ごしてきましたが、今年から3クラス。ちょっと教室が狭く感じるようになってしまいました。でも、元気な3年生のパワーをこれからは、学年として力にすることができるようにと考え、まずは学年集会を開きました。学年としての力を高め、パワーを生かしていけるようにしたいと考えています。

菊名池公園にも早速出かけました。3年生から始まる理科と社会。菊名池公園には理科の学習で出かけました。生活科よりも詳しく植物について調べたり、記録していくようになります。また、3年生で学習したことがこれからの基礎になっていきます。

子どもたちが興味関心をもって学習に取り組めるようにと実際の観察を早くから取り入れています。



ソーラン節引継ぎ 5年生・6年生

八木節引継ぎ 4年生・5年生

運動会に向けての取り組みの第1弾です。6年生が5年生にソーラン節の踊り方の指導をしました。これは、毎年行っていることです。この引き継ぎを行うことで、6年生は、最高学年としての自覚をつくっていくこととなります。また、5年生としても、この引き継ぎを通して、自分たちが高学年の仲間入りをしたことを実感していきます。

また、5年生も、4年生に八木節の引継ぎを行いました。4年生に自分たちが練習してきたことを伝えました。

引き継がれたソーラン節と八木節がどのように仕上がっているのか、運動会でご覧ください。



読書経験から得るもの

春には、「こども読書週間」が、秋には「読書週間」があります。また、「子どもの読書活動の推進に関する法律」もあります。「こども読書週間」が設定されたのが60年前。「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されて20年が経っています。

60年前と20年前では、時代背景も異なっていますが、一番の趣旨は「子どもたちに本を読んでもほしい。」ということです。

学校として、子どもたちが本を読む環境を作ること大切にしています。学校司書を中心に、学校図書館の運営を行っています。また、強力なサポーターとして、「図書ボランティア」の方々が、子どもたちに読書の楽しさを教えようといろいろな活動を行ってくださっています。また、学級でも、読書の時間を設けたり、国語の学習を中心に、文章を読む楽しさを経験させています。

篠原小学校の子どもたちは、横浜市の子どもの平均よりも長い時間読書をするのがわかっています。また、文章を読み解く力も横浜市の子どもの平均よりも高いことが分かります。学校にいる間、熱心に本を読んでいる子どもたちの姿を多く見ることができます。

読書の利点とは何でしょう。一つは、文章に慣れ親しむことでしょうか。紙の上であれ、ディスプレイ上であれ、今の時点では、文章を読み取るという作業は、必要不可欠な面があります。もちろん、オーディオブックを利用することや文章を読み上げてくれるアプリも多く出ていますから、そういう方法もあるでしょうが、多くの場合は、文章を読み取ることになると思います。読書の経験は、その点で、大きな役割を果たすと考えられます。そして、文章を読み取る力を高めるということが読書を勧める一つの理由になっているでしょう。文章を読み取る力は、学習の基礎となる力です。ですから、読書が学力向上に一定の力を発揮すると考えられるのも頷けます。

しかし、読書の利点は、文章を読み解く力を高めることだけにあるのではないと思います。もう一つ大きなものは、集中する力を高めるという点にあるのではないのでしょうか。文章に向かっているとき、大人でも、子どもでも、集中していると思います。この集中するという行為が、良い影響をもたらしていると考えられます。もちろん、スポーツに集中しているときも、ゲームに集中し

ているときも、高い集中力が養われるのは間違いありません。しかし、スポーツやゲームの集中力は、それ自体が持っているインタラクティブな面が大きな影響を与えていると考えられます。それに対して、文章自体は決してインタラクティブメディアだとは言えません。自分自身の集中する力が必要になってくるのだと考えます。

文章を読み取るとき、文章と文章の関連性をとらえる力も高められます。一つの言葉、特に、接続詞の働きによって、文章の意味や関係性は大きく変わってきます。それを読み取っていくことができる力が育まれるなら、それが理解力を高める大きな力になっていくことは想像に難くありません。

こう考えると、「読書」がもたらすものは、子どもたちの成長にとって大きな恩恵を与えるものだということが見えてきます。

一方、「読書離れ」ということが確実に進んでいるという現実があります。多くのメディアに囲まれ、いつでも、どこでも、様々なメディアに接することができる環境の中で、文字言語を中心とした「書籍」にどれだけの魅力があるかと言われると言葉に詰まる部分があります。特に、映像系のメディアが多様性をもつようになった今、子どもたちの興味を中心に、自分の好みに合ったメディアへと移ってしまうのもやむを得ないのかもしれない。

それでも、今、学校や家庭でできることは、書籍を中心とした文字メディアの魅力を子どもたちに伝えることではないかと考えています。長い年月をかけ、魅力的な本がたくさん書かれてきました。その魅力を知ること、読書に興味関心を持つ子どもも少なからずいると信じています。また、読書という経験から得ることができるものが多くあるというのも事実だと思います。

学校では、これからも、多くの読書経験を積み重ねていくことができるように努めていきたいと思えます。ぜひ、ご家庭でも、親子で読書を楽しむことができるような時間を作り出していただければと思います。そして、子どもたちに読書する楽しみを、読書から得ることができる多くのものを与えることができればよいと思います。

(青木 勇)